

KHネオケムの社会貢献活動

アスリート支援 ～ショートトラック・スピードスケート 菊池萌水選手～



photo:Aflo Sport

2020年10月の全日本距離別選手権では、強豪選手が出場するなか1500mで3位という結果を残し、ワールドカップへの出場権を手にしましたが、残念ながら、ワールドカップは新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、中止となりました。

2021年1月の全日本選手権では500m、3000mスーパーファイナルの2種目を制覇し、総合2位でした。

今秋から、北京五輪に向けた選考会が始まります。菊池選手が最大限実力を発揮できるよう、全社一丸となってサポートをしてまいります。

当社はショートトラック・スピードスケートの菊池萌水選手と所属契約を締結し、2022年北京五輪でのメダル獲得という目標を全力でサポートしています。

全社社会貢献活動 ～木製ベンチ塗装～

2020年の全社社会貢献活動として当社の事業とゆかりのある「塗料」を用いて、工場が所在する千葉県市原市・三重県四日市市の2拠点で塗装活動を実施しました。

当日は本社・千葉工場より58名、四日市工場より22名が参加し、万全な感染症対策のうえ、木製ベンチの塗装・補修を行いました。

今後も地域社会の発展に貢献できるよう、活動を継続してまいります。



市原スポレクパーク

観戦ベンチの寄付と塗装・補修活動

四日市霞ヶ浦緑地公園

敷地内ベンチの塗装・補修活動



KH NeoChem

KHネオケム株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-3-1
TEL 03-3510-3550

本冊子に記載されている将来に関する記述は、現在までに入手可能な情報に基づく前提や予測等を含んでおり、当社として確約や保証を行うものではありません。これらの情報は、今後の様々なリスクや不確実な要素により大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おください。

UD
FONT

KH NeoChem

証券コード 4189

KHネオケム株式会社

第11期 株主通信

2020年1月1日～2020年12月31日

この表紙の写真は 当社 四日市工場です。



トップメッセージ



新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々の一日も早い回復と感染の早期収束を心よりお祈り申し上げます。

また、株主の皆様には、日頃よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第11期(2020年1月1日～2020年12月31日)における事業をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 **高橋理夫**

当社グループの当期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症が拡大した影響により国内外の需要が低迷したため、前期に比べ販売数量が大幅に減少したほか、販売価格が原油・ナフサ価格の急落や需要の低迷に伴い弱含みで推移したこと、さらには冷凍機油原料新プラントの減価償却費や大規模定期修繕に伴う修繕費が増加したことなどにより、売上高773億32百万円(前期比17.9%減)、営業利益56億42百万円(同41.0%減)、経常利益56億27百万円(同43.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益40億46百万円(同41.5%減)と減収減益となりました。

2020年度の期末配当金につきましては、当社の配当基本方針や財務状況を総合的に勘案し、1株当たり30円とさせていただきます。これにより中間配当金(1株当たり30円)と合わせた年間配当金は1株当たり60円となります。

同感染症の世界的な拡大の影響により、今後も景気の先行きは総じて不透明な状況が続いておりますが、2021年度には段階的な需要の回復が想定されます。そうしたなか、2021年度の当社グループの業績につきましては、需要動向を的確に捉え、販売数量の増加を図るとともに、適切な価格政策や、あらゆる費用の見直し等を実施することにより増収増益を予想しております。また、2022年度より始まる新たな中期経営計画を、ESG(環境・社会・ガバナンス)、SDGs(持続可能な開発目標)の視点も踏まえ策定し、持続的な企業成長への道筋をつけてまいります。

株主の皆様には、今後もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年3月

連結業績ハイライト

連結業績のポイント

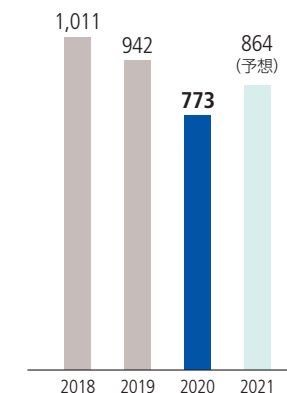
2020年度の連結業績

新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な需要減少により、減収減益。

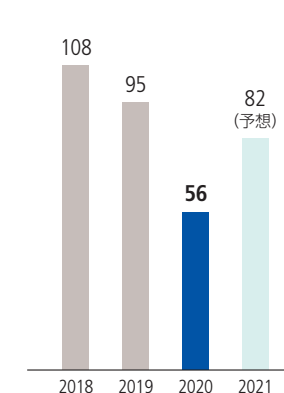
2021年度の連結業績予想

事業環境の改善に伴う販売数量増加により、増収増益を予想。

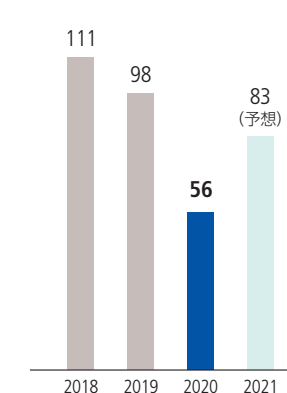
売上高 (億円)



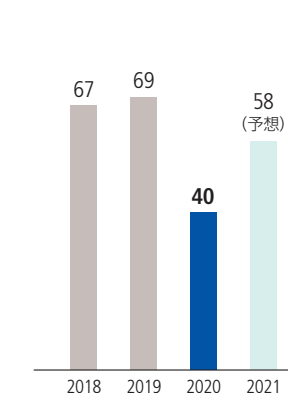
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



配当金の状況

2020年度の1株当たり年間配当金

60円

(1株当たり期末配当金 30円)

1株当たり配当金 (円)

	2019年度	2020年度	2021年度(予想)
中間	30	30	30
期末	30	30	30
年間	60	60	60

※本冊子に記載の金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

下記ウェブサイトにて、最新のIR関係資料をご覧いただけます。

<http://www.khneochem.co.jp/ir/library/>



2021年度の取組み

当社グループは、2019年度から2021年度までの3カ年を対象とした第3次中期経営計画「新たな挑戦」を推進しております。本計画策定時に想定していた事業環境とは全く異なる状況へと変化する中、最終年度である2021年度においては、VISION 2030で掲げた、地球温暖化抑制・豊かな暮らしに貢献するスペシャリティケミカル素材の提供や戦略ドメイン（環境・ヘルスケア・エレクトロニクス）での事業拡大といった中長期的な方向性を堅持しつつも、具体的な施策については、臨機応変に対応してまいります。

また、中長期的かつ多様な視点から当社グループを取り巻く経営環境や社会課題を捉え、2022年度から始まる新たな中期経営計画の策定を進めてまいります。

具体的な取組み ～VISION 2030 実現に向けて～

- ▶ 環境配慮型エアコン向け冷凍機油原料の新設備を活用し、拡大する需要を着実に取り込む
 - ▶ 黒金化成株式会社で本格稼働した次世代半導体向け材料の新設備を活用し、顧客の技術要求水準の高まりに対して確実に対応する
 - ▶ 外部企業や大学等と共同実験を行うための「オープンラボ」を新たに設置し、新事業の早期創出に向けた具体的な検討を推進
 - ▶ 設備トラブル防止に向けた戦略的保全を着実に実行
 - ▶ 生産性向上とコスト削減のより高い効果が期待される設備へのプラント制御システムの優先的な導入と効果の最大化
-
- ▶ ESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた非財務情報の開示の充実
 - ▶ 2020年度に策定した「コンプライアンス・コード」の下、ガバナンスの強化を推進
 - ▶ 地球環境に配慮した製品の拡大を含む成長戦略やデジタル技術の活用、人材・エンゲージメント等の経営課題について議論を進め、次期中期経営計画を策定

事業分野別情報

機能性材料

売上高

304億49百万円
（前期比18.7%減）

営業利益

51億29百万円
（前期比36.7%減）

当社の冷凍機油原料は、環境に優しいエアコンに使用される潤滑油の原料として、地球温暖化抑制に貢献しています。化粧品原料は、高級スキンケア化粧品等に利用されており、世界中の人々のQuality of Life (QOL) 向上に役立っています。

当期の業績は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりエアコン用冷凍機油原料の需要が大きく落ち込んだことや、外出自粛による化粧品販売の減少に伴い化粧品原料の需要が低調に推移したことなどにより、販売数量、売上高、利益ともに前期を下回りました。



電子材料

売上高

115億7百万円
（前期比1.8%増）

営業利益

17億83百万円
（前期比8.3%増）

半導体やディスプレイの製造プロセス向けに、当社が長年培ってきた蒸留技術、品質管理技術等を駆使して製造された、不純物（異物や金属）の含有量が極めて少ない高純度溶剤等を販売しています。

当期の業績は、国内外のテレワーク拡大や5Gへの移行進展等を背景とした半導体・ディスプレイ向け需要が堅調に推移するなか、高純度溶剤の売上が前期を上回ったことなどにより、販売数量、売上高、利益ともに前期を上回りました。



基礎化学品

売上高

343億84百万円
（前期比22.7%減）

営業利益

13億42百万円
（前期比47.0%減）

当社の基盤となる技術を用いて製造する製品群であり、自動車・住宅・電機等の産業分野の塗料・インキ・ワイヤーハーネス等、様々な用途向けに販売しています。

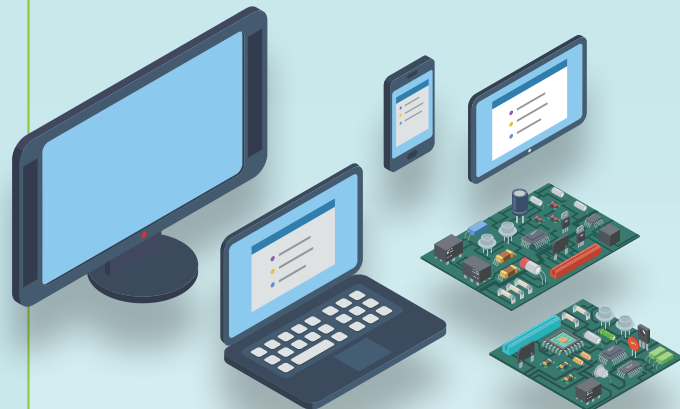
当期の業績は、第2四半期において新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、幅広い分野で国内需要が減退し、厳しい状況となりました。第3四半期以降、自動車関連を中心に緩やかに需要が回復しましたが、販売数量、売上高、利益ともに前期を下回りました。



※当社グループでは、上記の3事業以外に「その他」がありますが、売上高構成比率がわずかであるため記載を省略しております。
※上記の3事業における「営業利益」の算出に当たっては、全社に共通する管理費用等を配分しておりません。



高度な品質管理で最先端技術を支える当社グループの事業 電子材料編



5G、IoTやAI等の情報技術の発展に伴い、半導体やディスプレイ等の電子材料分野は極めて微量な不純物も許されない厳しい品質が求められています。

当社グループでは、長年培われてきた製造技術や品質管理技術を用いて、スマートフォンやパソコン等の電子機器の製造に必要な素材を供給しています。

新たなライフスタイルに変化していくなかで電子機器のさらなる需要拡大が見込まれており、今後も当社グループの製品で最先端技術の発展に貢献してまいります。

次世代半導体向け材料の製造設備を新設

当社のグループ会社である黒金化成株式会社において、2020年に、次世代半導体向け材料の受託製造に対応可能な新設備が完成しました。新設備には、製造プロセス中で混入する金属成分を半導体分野で要求されるpptレベルまで抑制できるクリーンな環境が整備されています。

同社はFPD(フラットパネルディスプレイ)や半導体に関連した電子材料向け素材の受託事業を中心に展開しており、それらの製造ノウハウや品質管理技術を強みとしております。

今後は、この強みを、新設備を通じて最大限活かし、電子材料分野の中でも成長が期待される次世代の半導体分野の受託製造にも取り組んでまいります。



新設した次世代半導体向け設備の一部

※次世代半導体とは、一般的にArF液浸、EUV等の高度な先端技術を用いて製造される半導体のことを言います。
※pptとはparts per trillionの略で、1兆分の1を示す単位です。

会社概要／株式の状況 (2020年12月31日現在)

設立	2010年12月8日（前身の協和油化(株)は1966年11月に設立）
資本金	8,855百万円
事業内容	各種石油化学製品の開発・製造・販売
従業員数	829名（連結）

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,405	9.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,370	9.07
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	2,019	5.44
東ソー株式会社	1,852	4.99
TAIYO FUND, L.P.	1,515	4.08
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,093	2.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,018	2.74
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE UKDU UCITS CLIENTS NON LENDING 10 PCT TREATY ACCOUNT	967	2.61
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	947	2.55
TAIYO HANEI FUND, L.P.	870	2.34

役員 (2021年3月23日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	高橋理夫	取締役(独立・社外)	宮入小夜子	執行役員	斎藤誠司	執行役員	高橋功
取締役 常務執行役員	松岡俊博	取締役(独立・社外)	土屋淳	執行役員	緒方利明	執行役員	上村朗
取締役 常務執行役員	新谷竜郎	取締役(独立・社外)	菊池祐司	執行役員	中橋彰夫	執行役員	徳光篤志
取締役 常務執行役員	濱本真矢	常勤監査役	大戸徳男	執行役員	近藤佳明	執行役員	佐藤克典
取締役 執行役員	磯貝幸宏	監査役(独立・社外)	河合和宏	執行役員	清水英樹		
		監査役(独立・社外)	田村恵子				

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
配当基準日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
株主名簿管理人／ 特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式事務に関するご案内

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ証券及びみずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)

発行可能株式総数	136,200,000株
発行済株式総数	37,149,400株
株主総数	4,774名

所有者別株式分布状況

